



## ご卒業おめでとうございます



卒業式の様子



在校生も卒業生を見習って背筋がピン

「考動」を学年目標に掲げ、八鹿っ子のリーダーとして活躍してくれた6年生36名が、3月19日に本校152回目の卒業生として門出の日を迎えました。



優しさと責任感をもって全校生を引っ張ってくれた6年生でした。自分から進んで動き、また自分に与えられた仕事を、こつこつとやり遂げることができました。相手を尊重する心もち、仲間を受け入れ、穏やかに接することができました。登下校や縦割りそうじでは、リーダーとして下級生に優しく声をかけ、導くことができました。より良い八鹿小学校を目指して、全校生を巻き込んだ数々の企画を提供してくれました。学年通信「たけのこ」のように、土を突き破って自分の力で光に向かおうとする「八鹿小学校のリーダー」として頑張りを続けた最高学年でした。

在校生（4・5年生）が出席しての卒業式となりました。卒業生から在校生へのバトンがしっかりと受け渡されたことはとても嬉しいことです。

八鹿小学校の卒業生としての誇りをもち、力強く進むことを心から願っています。ご卒業、おめでとうございます。

### ■ 卒業ボランティア「愛校作業」 3月12日

卒業の前に、6年生がお世話になった小学校をきれいにしようと、北校舎の1階から3階までの手洗い場前の床や壁をきれいに磨いてくれました。ふだんの縦割り掃除の時間だけではしきれない場所を選んで、心を込めてタワシやブラシ、雑巾を使って磨き上げ、掃除後は床が明るくなりました。きれいになった床で、気持ちよく手を洗ったり水をくんだりさせてもらいます。また、体育館のギャラリーやギャラリーにつながる階段の掃除も、掃除機や雑巾を使って丁寧にしてくれました。本当にありがとうございました。



## ■ 最後のお話広場（低学年） 3月18日



3月18日に、令和7年度最終のお話広場をしていただきました。最終回は1・2年生でした。教室に行きますと、毎回子どもたちは身を乗り出すようにして本の世界に浸りきって聴いており、その様子を見ていると、幸せな気持ちになりました。この1年間、読書ボランティアの皆様には、朝活の10分間の読み聞かせ以外にもお話レストランや図書室の整理や補修、図書室掲示物の作成など大変お世話になりました。1年間で実に様々な本を選んで読んでいただき、子どもたちはそのたびに心の栄養を摂らせていただきました。学校では、月に2回の「そうあんくんの日」に、読書をする取組を行ってきました。保護者アンケートの結果をみますと、今年度も家庭での読書習慣の定着までには至っていないことがわかりました。家庭との連携、そしてボランティアの皆様のお知恵もお借りしながら、本好きの子どもを育てていきたいとの思いしております。来年度もどうぞよろしくお願いいたします。



## ■ 感謝の気持ちを伝えよう

あ がと  
ありがとう = 「有り難う」  
\* あることがむずかしいこと  
↑ ↓  
はんたいのことは？  
あたりまえ

3月、最後の全校朝会で、「3月は感謝の気持ちを伝える月です。『ありがとう』の心や言葉で学校をいっぱいにしてほしいです。また、学校だけでなく、1年間お世話になった家族や先生、地域の人にも感謝の気持ちを伝えましょう」と話をしました。

ありがとうを漢字で書くと「有り難う（有ることが難しい）」はめったにないこと、あることがなかなかないこと、なのにあつた。だからありがたい、感謝したい。自分の周りに起こっていることや、してもらっていることを、

すごいことだ、あたりまえじゃないぞ、と心が感じるから『ありがとう』の言葉がうまれてきます。ありがとうを言われると言われた方は嬉しい。そして、言う方も嬉しいものです。ありがとうは「よろこび」をうみだす言葉なのです。

## 八鹿小学校の令和7年度が終わります

今年度の教育活動が終わります。本校では、今年度も教育スローガン「よろこびが生まれる学校づくり」を掲げ、様々な場面で子どもたちの生き生きとした姿を見ることができました。一人一人、テンポや歩幅の違いはありますが、どの子もまっすぐに伸びてきてくれました。これも各ご家庭の関わりと励まし、また地域の皆様の見守りがあったからこそです。保護者の皆様、地域の皆様には、今年度、学校運営へのご理解と多大なるご支援・ご協力を賜りましたことに感謝申し上げます。ありがとうございました。